

新潟薬学会開催のご案内

新潟県薬剤師会会長 長澤 敬一
新潟県病院薬剤師会会長 佐藤 博

第147回新潟薬学会を下記のとおり開催いたします。

本学会は県内薬剤師すべての研究発表の場ですので奮ってご参加ください。

記

日時：平成22年3月13日(土) 14:00～17:00

会場：新潟ユニゾンプラザ 4F 大研修室（新潟市中央区上所2丁目2番2号

TEL 025-281-5511）

【一般演題】(14:00～)

座長：山下 恒弘(新潟県病院薬剤師会学術委員)

座長：松本 洋介(新潟県薬剤師会学術・生涯学習委員)

1. 「日本医薬品集 DB と Access を用いた院内医薬品集の作成方法」

～1700 品目収載の院内医薬品集を 11 時間で作成した方法～

厚生連 佐渡総合病院 ○霍間 尚樹、渡邊 武則 厚生連 上越総合病院 加藤 英樹

2. 「 PTP 全自動薬剤払い出し装置『Tiara』導入による効率化とその評価

榊市民調剤薬局 ○廣川亮 大洋裕彦 阿部友絵 金川玲子

3. 「ディスカストレーナーを用いた吸入速度指導の有効性の検討」

厚生連 佐渡総合病院 ○細川 浩輝、霍間 尚樹、渡邊 武則

4. 「当薬局における後発医薬品への取組み」 ～新人薬剤師による問題点の考察と今後の課題～

にいがた調剤薬局 ○宮沢憲太、石澤明子、板垣亜沙美、市川宙、大澤恵、小池佑介

小林汐香、清水雄介、関矢真理子、西脇里花子、長谷川亮仁、長谷川真也、三富綾子

井上幹雄、登石忍、月岡良太、大石美也

5. 「患者が望むジェネリック医薬品と薬剤師が選ぶジェネリック医薬品の相違」

————— ジェネリック医薬品の付加価値を考える —————

市民調剤薬局 ○黒田泰司 1、國井絵里 2、杉山康浩 3、松崎靖友 1、皆川淑哉 4、

堀信弥 1,5、朝倉俊成 5,6 (市民調剤薬局 1、オリーブ調剤薬局 2、有限会社共栄堂 3、

有限会社参友堂 4、新潟市薬剤師会 5、新潟薬科大学 6)

6. 「ブロッキング現象対策とストレスマネジメント・ワークショップのエラー数への効果(中間報告)」

(株)スギモトコーポレーション わかば薬局 ○堤 俊也、堤 由紀

7. 「自殺予防ゲートキーパーへの薬剤師参入の提言」

市民調剤薬局 ○向井 勉、大久保 亜弥

☆☆☆ 緊急企画「新型インフルエンザへの対応」☆☆☆

8. 「新型インフルエンザ 当院の対応」

新潟市民病院 ○伊藤 敦子、今井 由美子、大崎 角栄、渡邊 早苗

星野 忍、手塚 貴文、内藤 真一、塚田 弘樹

9. 「当社におけるインフルエンザ対策と現状」

共栄堂 しばたセンター薬局 ○栗原 敬子、小嶋 美紗子

あがの調剤薬局 山口 喜規、けんおう調剤薬局 田口 信行

☆☆☆ 集中企画「入院時持参薬管理の現状」☆☆☆

10. 「入院時持参薬鑑別再調製業務の効率化に向けた取り組み」

新潟県立中央病院 ○山下 弘毅、貝瀬 眞由美、柳 紀美江

11. 「当院の電子カルテにおける持参薬の運用について」

下越病院 ○三星 知、長井 一彦

12. 「薬剤師による持参薬管理－腎機能評価を用いた適正使用調査－」

新津医療センター病院 薬剤局 ○飯塚 彩乃、大瀧 泰香、石井 美帆、須藤 志帆

深山 大、清水 健一、継田 雅美

本学会は日本薬剤師研修センター生涯教育制度に認められており、研修シール2単位が交付されます。